

文字文化時代の 日本史の時代区分と動因 (二軸構造の政治層) — <朝>と<武>の行方

a	徳川幕文	法皇時 1000	鎌倉幕 1192	室町幕 1333	徳川幕 1603	徳川幕 1603	徳川幕 1603	徳川幕 1603	徳川幕 1603	徳川幕 1603
b	250 A.D.	538-607	672-710	794	1192	1333	1573	1603	1732	1787-1868
c	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
d	古墳時代	飛鳥白鳳時代	天平時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土桃山時代	江戸時代前期	江戸時代中期	江戸時代後期
e	<朝廷>と<武族>の統合	朝廷中心 <武>は<朝>に内包	IIの系統漢文化導入	<朝>の<武>を内包 (山内が親政)	<武>の優勢	<朝>に包まれた<武>	<武>の再優勢	幕人指頭 <朝武>の協和	この創縁のときは「お政」が主導した。<朝武> (家康はVIIIの系統)	町人(地方武身者)と商人富者の分断 天明の大飢饉のときは「お政」が主導した。<朝武>の打ち壊し
f	朝武	朝1	朝2	朝3	武1	朝4	武2	武3	武4	町1

明治25年位まで

日本文化(文字文化時代)の二軸は<朝>と<武>に代表されていた。

<朝> = 聖 = 無限存在, <武> = 俗 = 有限存在: 西洋では<聖>と<俗>は対立関係にある。中国も対立。
: 日本では共存、支合っていた。 「統治者、親が果つる」

明治以降 <中心軸内型>と目指す式、一万年を越え「無文字文化」を根に持つ <二軸外型>を扱った。この不安定な社会が流れている。

M i n i k i	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII
	明治前期	明治後期	大正 皇代	昭和 前期	昭和 中期	昭和 後期	平成 1989-2019
	朝1	朝2	朝3	朝4	朝2	権民1	権民2
	1868 明治 大政奉還	1889 明治22 大日本帝国 憲法公布	1911 明治44 華盛頓 条約	1925 大正14 普通選挙 東京放送局開局 治安維持法公布	1941 昭和16 太平洋戦争	1945 昭和20 敗戦 1951 昭和26 安保条約	1954 昭和29 東条内閣 新資本親由 1970